

平成22年度事業報告書

〔平成22年4月1日から
平成23年3月31日まで〕

I 事業の実施状況

平成22年度は、深刻な金融危機を背景に低金利状況が続く中で、基本財産の効率的な運用を図り収入の確保に取り組むとともに、引き続き管理費等の経費節減に努めた。一方、事業運営については、新公益法人制度に適切に対応するため、沖縄県対米請求権事業調査委員会による対米請求権事業の見直しに関する答申に基づき、期間限定的な事業や軍用地跡地利用対策助成事業の現行事業の助成割合を引き上げ実施した。

1. 地域振興事業

(1) 地域振興助成事業

地域の特性を生かした個性豊かな地域づくりを推進するため、市町村等が行う事業を対象に助成を行うものである。(原則として国及び県の補助対象となるものを除く。)

平成22年度は予算額2億1,080万1,000円で、決算額は2億52万3,394円である。

平成22年度は、41市町村へ106件、4広域市町村圏事務組合へ5件の助成を行った。

なお、事業項目別の件数、市町村実施数、広域圏実施数、助成額は次のとおりである。

事業項目	助成件数	金額(円)	備考
ア) 地域活性化推進事業	25 (22市町村) (3広域圏)	49,889,176 14,000,000	市町村活性化委託調査 イベント事業等
イ) 地域産業振興事業	7 (7市町村)	12,262,000	地場産業の推進等
ウ) 地域環境保全推進事業	2 (2市町村)	3,369,000	環境調査委託事業等
エ) 地域文化振興事業	20 (19市町村) (1広域圏)	29,690,689 1,000,000	県外市町村との交流事業等 県外児童との交流事業
オ) 地域国際交流推進事業	30 (29市町村) (1広域圏)	46,475,393 3,792,434	海外ホームステイ派遣事業 研修生受入事業等
カ) 地域情報化推進事業	3 (3市町村)	8,838,000	ブロードバンド活用推進事業等
地域学力向上支援事業	24 (22市町村)	31,206,702	地域運営の学習塾の支援、 検定料の補助等
合計	111	200,523,394	

(2) 軍用地跡地利用対策助成事業

駐留軍用地跡地及び駐留軍用地等の総合かつ計画的な有効利用を促進することによって、住民の生活環境整備と福利増進に資するため、市町村等が行う軍用地跡地利用計画の策定や環境調査、地権者意向調査、企業等の誘致に関する調査等跡地利用の推進に関する広範な取り組みに対する助成事業である。

平成22年度は予算額1,500万円で、決算額は1,453万6,000円である。

平成22年度は、北中城村、読谷村及び北谷町へ助成を行った。

2. 研究研修事業

(1) 地域政策研究事業

① 沖縄地域政策研究事業

沖縄における地域社会の特色ある発展を図るための中長期的課題や直面する諸問題の解決方法等について明らかにし、具体的な政策提案を行うために当協会が実施する調査研究である。

平成22年度は、「新時代のシマづくり～地域の声を生かすには～都市部編」をテーマとして、市町村・県職員とNPO法人コミュニティおきなわとの共同で調査研究を行った。

② 資料等整備事業

沖縄の米軍基地転用関連資料や沖縄への外国企業誘致のための経済情報等を収集分析し、県政の円滑な運営に役立てるため、沖縄県と（財）南西地域産業活性化センターが実施する調査研究事業へ助成を行った。

なお、地域政策研究事業の平成22年度予算額は、1,032万7,000円で、決算額は858万4,812円である。

(2) 交流研修助成事業

① 地域活性化交流事業

県内の各広域市町村圏事務組合や地域づくり団体が、地域の振興及び活性化を目的として実施するワークショップ、フォーラム、セミナー等の開催に対して支援し助成する事業である。

平成22年度は、次の24団体に対して支援し助成を行った。

団体名	事業テーマ	事業内容
1 北部広域市町村圏事務組合	平成22年度 やんばる自治体職員研修会	講演会
2 中部広域市町村圏事務組合	幹事会研修「地方自治講演会」及び職員研修講座	講演会・講座
3 南部広域市町村圏事務組合	平成22年度 広域研修事業地方自治講習会	講習会
4 八重山広域市町村圏事務組合	「地域に根ざした青年会活動」	講演会
5 NPO法人花と緑の石垣島	映画館を活用した映像と文化のまち起こし	シンポジウム・コンサート
6 カサブランカを愛する市民の会	わが街に花を咲かせ、平和を願う	花の植え付け講習会
7 親子サークルし〜あ〜ぷ〜	発達支援講演会・地域ふれあいコンサート	講演会・コンサート

8 西崎子どもクラブ	「学びの泉」親子絵画教室・草木染め講習会	体験講習会
9 NPO法人ハマスーキ	「糸満ウミンチュの歴史と文化」	講演会
10 糸満ブックスタートを推進する会	読書活動による人づくり、まちづくり～幼児期からの読書～	講演会
11 屋富祖自治会	「アヤカシ屋富祖・チャーカ屋富祖」～屋富祖地区の今後のまちづくり～	まちづくり講演会・フォーラム
12 勝連平安名区自治会	平安名区綱引きによるまちづくり	綱づくり講習会・綱引き
13 うるま市天願生き活き会	天願のお宝売ります。花いっぱい朝市で地産地消	天願川周辺の美化・花木の植栽、花と緑のイベント
14 特定非営利活動法人大宜味つばきの会	「糸芭蕉の余材を使った自然織」体験教室	体験教室
15 専門学校沖縄ブライダル・モード学園	夏休み宿題製作お助け隊	手作り製作のお手伝い講習会
16 沖縄商工会議所	沖縄市花ハイビスカス一鉢運動推進事業	ハイビスカスの上手な育て方講習会
17 沖縄市民憲章推進協議会	講演会及び沖縄市名木集の発行	講演会・冊子作成
18 沖縄市センター商店街振興組合	こども経済活動体験事業	ワークショップ
19 なはエコネットワーク	環境保全行動計画普及事業	河川観察勉強会・環境フェア
20 ナハ・シーパラダイス協議会	「万国津梁の心」育成支援プロジェクト	地域の歴史・環境の出前講座、シュルキング体験学習
21 泊中通り会	泊中通りを中心とした地域活性化事業	仮装パレード・マップ作成
22 「翔べ！尚巴志」公演実行委員会	尚巴志キッズ歴史感動体験ワークショップ	歴史体験ワークショップ、勉強会
23 小那覇自治会子ども会	楽しく学ぶ子ども会事業	エイサー、旗頭、獅子舞教室
24 非営利組織団体はっぴいバルーン	「発達障害・将来を見据えて今出来ること」	講演会

②沖縄古謡保存記録事業

沖縄県各地で古くから歌われている神歌、儀礼歌、わらべ歌等の古謡を収集、記録保存し、後世に受け継ぐために（財）沖縄県文化振興会が実施する「沖縄古謡保存記録事業」に対し助成する事業である。

平成22年度は、（財）沖縄県文化振興会が外部委託した沖縄本島中南部及び宮古諸島の古謡の録音や「八重山諸島中巻」CD付属の解説書の校正作業へ助成を行った。

③対米協地域振興移動フォーラム

沖縄県の雇用対策スタッフと雇用問題について共同で研究する事業である。

平成22年度は沖縄型人材マネジメント研究会を開催し、沖縄県の課題である「雇用対策のための中核人材の育成」について研究報告書を作成し関係機関へ配布した。

④沖縄・提案一百選事業

沖縄県にとっての重要課題について、一つの共通テーマで広く県民各層からの提案募集と、琉球諸島文化のアイデンティティの基層をなす、多様な言語群の継承に資するため琉

球諸語（奄美語、国頭語、沖縄語、宮古語、八重山語、与那国語）による作文等を募集し、審査した上位100選は買上げて、報告書として広報出版する事業である。

平成22年度は、第4回第1部「沖縄の米軍基地」、第2部「書いて残そうを島々の言葉」で募集を行い、第1部は60件、第2部は29件を入選とした。第5回は第1部「私の成功体験」、第2部「書いて残そうを島々の言葉」で募集を行い、第1部は92件、第2部は18件を入選とし報告書を作成し出版広報を行った。

⑤沖縄の芸能派遣支援事業

沖縄の伝統芸能（琉球舞踊・エイサー等）を広めるために、県立芸大琉球芸能専攻OB会や沖縄市青年団協議会が実施する「沖縄の古典芸能派遣事業」や「エイサー指導員派遣事業」へ助成を行う事業である。

平成22年度は、県立芸大琉球芸能専攻OB会の広報活動を強化するため県外での公演及び沖縄平和音楽祭における、三線・琉球舞踊のワークショップ活動や沖縄市青年団協議会が実施した県外へのエイサー指導員派遣事業へ助成を行った。

⑥主要観光コースの沿道花一杯事業（フラワーロード構想）

沖縄の観光振興や景観整備の一環として、主要観光道路沿いの空き地等に花の植栽を行う団体や個人の取り組みに対し地域公共景観賞を創設し、顕彰する事業と県民の花への関心を向上させる目的でフラワーパークを造るなどのモデル事業を行う事業である。

平成22年度は、地域の公共地等に植栽を行っている団体や個人を対象として、地域公共景観賞を公募し、29か所への助成と、カサブランカ市民の会による沖縄平和音楽祭及びシーサー大賞展における花一杯活動や（財）沖縄こども未来ゾーン運営財団の実施したフラワーウォール制作事業への委託を行った。

⑦沖縄平和芸術祭事業

沖縄の精神文化の象徴といえるシーサー作品を広く募集、展示することで造形文化の発展を図り、併せて、琉球芸能、洋楽演奏を通し、広く県民等に沖縄文化の豊かさを再認識してもらう事業である。

平成22年度は、糸満観光農園内での、シーサー大賞展及び沖縄県平和祈念資料館で県内ミュージシャンや県立芸大生等による平和音楽祭を開催した。

なお、交流研修助成事業の平成22年度予算額は、5,638万円で、決算額は4,204万3,967円である。

(3) 研究助成事業

県内の研究機関等が行う、沖縄の地域振興及び文化の高揚に寄与することを目的とする政策提案型の研究に対し助成する事業である。

平成22年度は予算額746万5,000円で決算額は577万373円である。

平成22年度は『新しい住民意識のカタチ地域免疫力』（西原町まちづくり研究会）、『尖閣諸島の自然・開発利用の歴史と情報に関する報告（尖閣諸島文献資料編纂会）』及び『21世紀沖縄の自治と自立の構想（沖縄大学）』に対し助成を行った。

3. 学力対策支援事業

①ユイマール塾システムの構築・活動支援事業

各地域で小中学生（5～15人）を集めて「ユイマール塾」を運営してもらい、将来を担う子供達の学力向上を図るため、協会は、審査会を設置し講師の審査や講師料等の費用を負担し、事業全体の進捗管理を行う事業である。

平成22年度は、小学生の19塾（栗国村1塾、渡嘉敷村1塾、伊是名村1塾、宮古島市3塾、名護市1塾、うるま市2塾、沖縄市1塾、北谷町1塾、那覇市5塾、浦添市1塾、糸満市2塾）と中学生の7塾（栗国村1塾、渡嘉敷村1塾、宮古島市1塾、北谷町1塾、那覇市1塾、糸満市2塾）へ支援を行なった。

②子ども探究心活性化事業

沖縄県が実施している「科学教育プログラム」を活用し、県内の小中学校で出前講座として、科学教育に触れる実験教室や様々な職種のキャリア教育を行う事業である。

平成22年度は県内12か所で24回出前講座を実施し、のべ615名の児童生徒が参加した。

なお、学力対策支援事業の平成22年度予算額は3,120万円で、決算額は2,159万718円である。

II 理事会・総会運営状況

1. 理事会

開催年月日	審議事項等
平成22年5月25日（火）	(1)平成21年度事業報告及び収支決算の承認について (2)役員（監事）の選任について (3)沖縄県対米請求権事業調査委員会の選任について
平成23年3月25日（金）	(1)平成23年度事業計画（案）の承認について (2)平成23年度収支予算（案）の承認について (3)役員（理事）の選任について
平成23年3月29日（火）	役員（専務理事）の承認について

2. 総会

開催年月日	議決（承認）事項
平成22年5月28日（金）	(1)平成21年度事業報告及び収支決算の承認について (2)役員（監事）の選任について
平成23年3月29日（火）	(1)平成23年度事業計画（案）の承認について (2)平成23年度収支予算（案）の承認について (3)役員（理事）の選任について